

令和2（2020）年 10月 22日

報道関係者
地域広報関係者 各位

国際日本文化研究センター
総合情報発信室

企画展「CHINA GRAPHY—日本のまなざしに映った中国—」 開催のご案内

国際日本文化研究センター（日文研）は、このたび大阪大学総合学術博物館との共同主催で、下記のとおり展覧会を開催することとなりました。本展では、近代以降の日本人旅行者や研究者による中国各地の記録と表象（地図・絵葉書・写真等）をテーマに、日文研がこれまで収集してきた貴重資料を多数展示いたします。

記

- タイトル：企画展「CHINA GRAPHY—日本のまなざしに映った中国—」
- 会 期：2020年10月31日（土）～2021年1月30日（土）
- 会 場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館
〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-20
- 開館時間：11:00～16:00（入館は15:30まで）
- 休 館 日：日曜日・祝日・年末年始 *ただし11月22日（日）は特別開館
- 入 館 料：無料
- 主 催：大阪大学総合学術博物館／国際日本文化研究センター
- 共 催：大阪大学大学院言語文化研究科

○概 要：

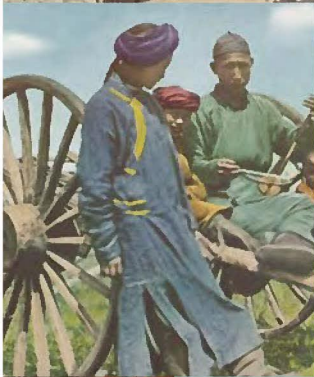
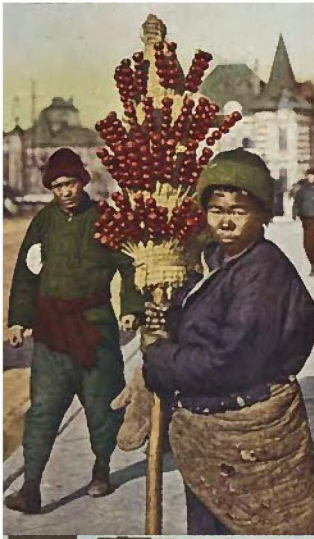
近代以降の日本人旅行者や研究者による中国各地の記録と表象（地図・絵葉書・写真等）をテーマにした展覧会を開催します。本展では、国際日本文化研究センター所蔵資料、ならびに大阪大学大学院言語文化研究科・同大学総合学術博物館所蔵資料を利用し、戦前・戦後における中国各地の社会的変化、日本人の中国認識の変容、とりわけその間の両者の連続と断絶を検証し、戦前から今日に至る中国関連の記録・表象の変遷をたどります。日文研がこれまで収集してきた吉田初三郎鳥瞰図資料や明治・大正期の日本人が中国を記録した絵葉書や写真など、貴重な作品も多数出展いたします。

*本展覧会は、人間文化研究機構「博物館・展示を活用した最先端研究の可視化・高度化事業」として実施します。

（添付：A4チラシ片面 2枚）

本件お問い合わせ先：国際日本文化研究センター 研究部 劉 建輝

TEL：075-335-2100（研究部受付） E-mail：jianhui@nichibun.ac.jp



日本のまなざしに映った中国
 CHINA: THROUGH JAPAN'S EYES
 日本視線中的中国

大阪大学総合学術博物館 第23回企画展

日本のまなざしに映った中国
 CHINA
 GRAPHY

日時：2020年10月31日[土] ▶ 2021年1月30日[土]

11:00～16:00(入館は15:30まで)

休館日:日曜日・祝日・年末年始12月28日(月)～1月4日(月)

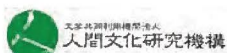
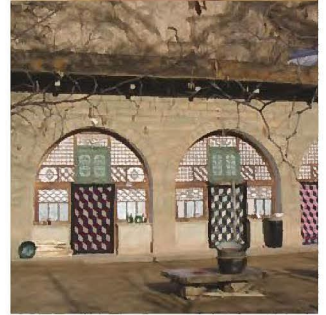
ただし11月22日(日)は特別開館

会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館

入場料：無料

主催：大阪大学総合学術博物館 / 国際日本文化研究センター

共催：大阪大学大学院 言語文化研究科



博物館・展示を活用した最先端研究の可視化・高度化事業

本展覧会には、

日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(B)26283008:研究代表者 深尾葉子、
 挑戦的研究(萌芽)17K18512:研究代表者 伊藤謙)による研究成果の一部が含まれる。

日本視線中的中国

日本のまなざしに映った中国

近代以降の日本人旅行者や研究者による中国各地の記録と表象(絵葉書・写真等)をテーマにした展覧会を開催します。国際日本文化研究センター所蔵資料および、本学言語文化研究科と総合学術博物館教員の撮影した資料を活用し、戦前・戦後における中国各地の社会的変化、日本人の中国認識の変容、とりわけその間の両者の連続と断絶を検証し、戦前から現在へと至る記録・表象の変遷をたどります。

This exhibition showcases the written archives and visual records (such as postcards and photographs) concerning social changes all over China, as well as the reception of Japanese about China. The exhibition explores the continuities, disparities and transformations between the fact and the reception, from pre-war period until recent. Featuring objects were selected from the collections from International Research Center for Japanese Studies, Graduate School of Language and Culture, Osaka University, as well as Museum of Osaka University.

本次展览会以“日本视线中的中国”为主题，将展出自近代以来的日本人旅行者及研究者所留下的关于中国各地的记录及图像(明信片、照片等)。

本次展览将使用国际日本文化研究中心及大阪大学语言文化研究科、综合学术博物馆教员们所提供的影像资料，来展现从战前至战后中国各地的社会变化，以及日本人的中国认识的变迁，并以此为出发点，来探索中日两国之间的接续与断裂。



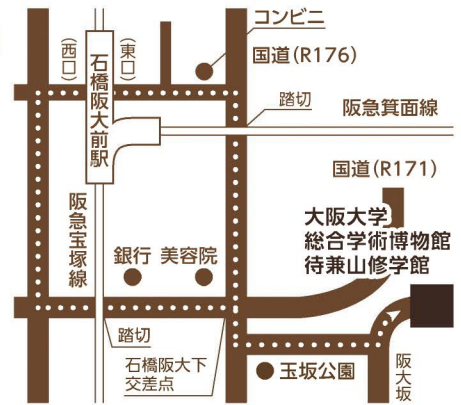
吉田 初三郎「滿蒙の交通産業案内」1932(昭和7)年

《展示構成》

- 1) 大陸へのまなざし-拡大する帝国とその表象-
地図・鳥瞰図・パンフレットにみる中国の空間表象
明治・大正期の日本人が記録した中国
- 2) 戦前中国へのまなざし-絵葉書が伝えた風俗と戦場-
昭和前期の渡航者のまなざし(実像と虚像の交錯)
従軍画家の描いた日中戦争(顕現と隠蔽の戦場)
- 3) 現代中国へのまなざし-内と外からみる風景-
革命後の新中国(罪孽と憧憬の旅) / 改革開放後の変貌(郷愁と脅威の喧伝)
中国が見せたかった中国 / 大阪外国語大学卒業生が撮る中国
中国の内部へ / 演劇資料
- 4) 阪大からのまなざし
-深尾研究室による黄土高原フィールドワークと中国語研究室が受け継いできたもの-
天と人(冠婚葬祭など) / 地と人(高原地帯に暮らす人と自然)
人與人(ヤオトン、食事などの生活)

関連書籍の販売及び展示のオンライン配信を予定しています。詳細は、大阪大学総合学術博物館HPで後日、ご案内いたします。

Access《アクセスマップ》



阪急宝塚線「石橋阪大前駅」下車、徒歩10分
※公共の交通機関をご利用ください。

《展覧会関連イベント》

シンポジウム

『日本のまなざしに映った中国』を語る

開催日時：2020年11月29日[日] 14:00~16:00(予定)
講師：伊藤 謙(大阪大学総合学術博物館 特任講師(常勤))
劉 建輝(国際日本文化研究センター 教授)
深尾葉子(大阪大学大学院 言語文化研究科 教授)

シンポジウム内容

展覧会を担当した研究者たちが『日本のまなざしに映った中国』について、講演と座談会形式を交えて語りあいます。各担当者による本展覧会の解説も実施します。

※オンライン開催予定、使用言語は日本語です。

詳細は、大阪大学総合学術博物館HPで後日、ご案内いたします。

Symposium

大阪大学総合学術博物館
MOU 待兼山修学館
Museum of Osaka University

〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-20
Tel : 06-6850-6284
<https://www.museum.osaka-u.ac.jp/>

フェスタ
国立大学2020

●ご来館のみなさまへ

新型コロナウイルス感染症の予防のため会期・イベント等を変更・中止する場合があります。また、現在当館では入場人数の制限や開館時間の短縮、来館者の皆様へのマスクの着用や健康チェックシートのご記入等をお願いしております。来館やイベント申込にあたっては、事前にホームページでご確認ください。